

高齢者の道路横断中の交通死亡事故が多発!!

本年3月31日現在、歩行中に亡くなった14人の方全員が道路横断中で

- その約9割（12人）が高齢者で、うち横断歩道やその付近を横断中が10人（前年比+3人）と増えています。

これらの事故の要因の多くは、安全不確認などドライバー側の過失ですが、

- 信号無視や横断歩道外横断など、歩行者に違反があるケースが増加しています。

高齢者の皆さん！

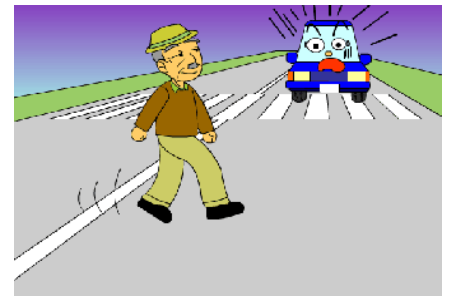
自らが交通事故にあわないよう、また、子供がマネをしないよう、歩行中も交通ルール・マナーを守りましょう。



1 遠回りでも横断歩道を利用する！

ドライバーは、「横断歩道」に注意を向けるため横断歩道外を横断している歩行者に気づかない場合があります。

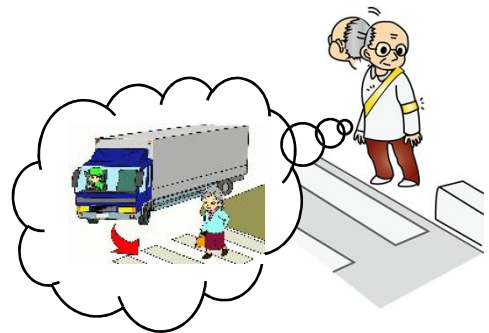
横断歩道付近では、遠回りでも必ず横断歩道を横断しましょう。



2 信号無視はしない！青信号でも油断しない！

信号のある横断歩道では、必ず信号を守ってください。

また、青信号で横断するときも、歩行者に気づかないドライバーがいることを想定して、左右の安全を確認してから横断してください。



3 夜間は反射材を着用する！

道路横断中の事故は、夜間に多く発生しています。

用事はなるべく昼間に済ませ、夜間、外出するときは、必ず、反射材を着用してください。



横断歩道マナーアップ運動推進中！